

全数・定点報告疾患集計表（管内で届出のあった疾患のみ抜粋）

【全数報告疾患】

| | 疾患名 | 24週～25週 | 累計(年) |
|----|--------------------|---------|-------|
| 2類 | 結核 | 1 | 2 |
| 4類 | レジオネラ症 | 0 | 1 |
| | E型肝炎 | 0 | 2 |
| 5類 | 百日咳 | 0 | 3 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 0 | 2 |
| | 梅毒 | 1 | 3 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 0 | 2 |
| | アメーバ赤痢 | 0 | 1 |
| | 急性脳炎 | 0 | 1 |
| | 水痘(入院例) | 0 | 1 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 0 | 1 |
| | 多剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 1 |

【定点報告疾患】 ※県より上回っているものは赤字にしています。

| 疾患名 | 山武保健所 | | 千葉県 | |
|-------------------------|-------|-----|-------|-------|
| | 24週 | 25週 | 24週 | 25週 |
| インフルエンザ | 0.33 | 0 | 0.09 | 0.29 |
| 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) | 0.33 | 0.8 | 0.63 | 0.66 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 3.67 | 0 | 2.48 | 2.4 |
| 感染性胃腸炎 | 0 | 1.0 | 3.41 | 3.79 |
| 突発性発疹 | 0.67 | 0 | 0.29 | 0.24 |
| 流行性耳下腺炎 | 0.33 | 0 | 0.05 | 0.08 |
| 急性呼吸器感染症 (ARI) | 37.17 | 8.6 | 54.11 | 55.31 |

※定点報告疾患については、該当週に報告数0の疾患は掲載していません。また、第21～25週のグラフを別添しております。

感染症トピックス

TOPICS

これからの時期は蚊媒介感染症に気を付けましょう！

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことです。

主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあります。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。蚊が本格的に増加し、蚊と接触する機会が増えるこれからの時期は注意が必要です。

主な蚊媒介感染症



| 流行状況 | 感染症名 | 潜伏期間 | 主な症状 | 備考 |
|--------|-----------|--------------------|--|---|
| 国内発生あり | デング熱 | 3～7日 (最大2～14日) | 発熱、発疹、頭痛、 骨関節痛、嘔気・嘔吐 | ・まれに重症化してデング出血熱 やデングショック症候群を発症 することがあります。 |
| | 日本脳炎 | 6～16日 (通常7～10日) | 発熱、頭痛、嘔吐、めまい、 項部硬直、意識障害、 筋強直、不随意運動 | ・重症化すると痙攣や麻痺などの 神経障害を伴い死亡することが あります。 |
| 輸入症例のみ | チクングニア熱 | 2～12日 (多くは3～7日) | 発熱、関節痛、発疹、全身 倦怠感、頭痛、筋肉痛、 リンパ節腫脹 | ・重症例では神経症状(脳症)や 劇症肝炎が報告されています。 |
| | ジカウイルス感染症 | 2～12日 | 発熱、発疹、結膜炎、 関節痛、筋肉痛、疲労感、 倦怠感、頭痛 | ・妊婦が感染することで、胎児に 小頭症やその他の発達障害が おこることがあります。 |
| | ウエストナイル熱 | 3～15日 | 発熱、頭痛、筋肉痛、発疹 | ・特に高齢者では髄膜炎や脳炎 など重症化し死亡することが あります。 |
| | 黄熱 | 3～6日程度 | 発熱、頭痛、悪心・嘔吐、 結膜充血、蛋白尿 | ・重症化すると数時間後から 48時間以内に黄疸、出血、 蛋白尿などの症状が出現します。 |
| | マラリア | 1～4週間 | 発熱、倦怠感、頭痛、嘔吐 | ・重症化すると脳症や腎障害、 出血傾向を生じ、死亡することが あります。 |

感染してからの治療よりも蚊に刺されないための対策が重要です。

国内では媒介蚊の一つであるヒトスジシマカが生息しています。蚊に刺されないよう以下の予防対策を実施しましょう。

予防対策 Point解説

肌の露出を少なくする



流行地域ややぶ等の蚊のいそうな場所では、長袖・長ズボンを着用し、足を完全に覆う靴を履きましょう。明るい色の服を着ましょう。

虫除け剤を使用する



肌が露出している部分には虫除け剤を使用しましょう。発汗が著明な場合は、こまめに塗布しましょう。

蚊の侵入を避ける



屋内では網戸やエアコン、殺虫剤処理された蚊帳を使用し、蚊の侵入を避けましょう。

周辺の水たまりの除去・清掃

幼虫対策

雨ざらしの用具



屋外に放置された
空きビン・缶・ペットボトル



蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう。

成虫対策



風通しの悪い下草(やぶ・草むら)を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。

デング熱の国内感染事例について

- ・2014年8月、国内において約70年ぶりにデング熱の国内感染が確認された。
- ・海外渡航歴がなく都内の公園等で蚊に刺された方からデング熱患者が発生し、最終的に都内では108人の患者が報告されるに至った。
- ・感染から発症までの期間は0～12日で、平均5.95日。発症から診断までの期間は0～81日。
- ・発生届に記載された症状には、発熱や血小板減少、白血球減少、頭痛、全身の筋肉痛、発疹、骨関節痛の順に多かった。

医療機関の皆様へ

蚊媒介感染症は、感染症法において四類感染症に位置付けられています。

患者(確定例)もしくは無症状病原体保有者を診断した場合、また、感染死亡者及び感染死亡疑い者の死体を検案した場合には、ただちに保健所まで届出をお願いいたします。

【引用文献】

〈厚生労働省HP 蚊媒介感染症〉

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

〈蚊媒介感染症の診療ガイドライン(第5.1版)〉

<https://www.mhlw.go.jp/content/000477538.pdf>

〈JIHS 日本脳炎〉

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/japanese-encephalitis/index.html>

〈JIHS ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎含む)〉

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/west-nile-virus-infection/index.html>

〈JIHS 黄熱〉

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/yellow-fever/index.html>

〈JIHS マラリア〉

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/malaria/index.html>

〈JIHS デング熱報告例に関する記述疫学(2014年1月～9月)〉

<https://id-info.jihs.go.jp/niid/ja/dengue-nn/dengue-lasrd/5133-ki4171.html>

〈JIHS 約70年ぶりに確認された国内感染デング熱の第1例に関する報告〉

<https://id-info.jihs.go.jp/niid/ja/dengue-nn/dengue-lasrs/5268-pr4191.html>

〈東京都におけるデング熱国内感染事例の発生について〉

https://www.istage.ist.go.jp/article/jph/62/5/62_14-102/_pdf-char/ja

山武保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 — 警報基準値 - - - - 解除基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみCOVID-19、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

